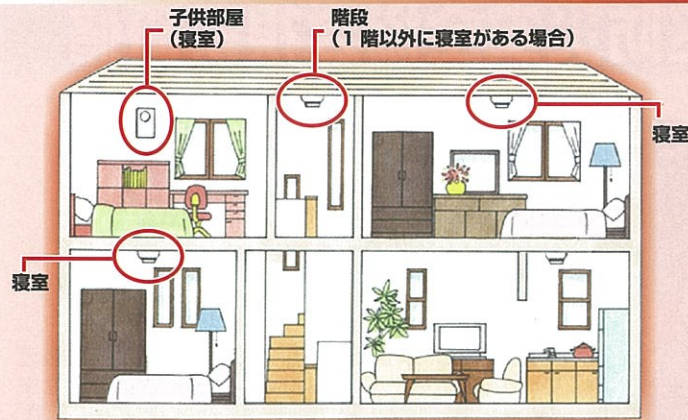


もう取り付けましたか?『住宅用火災警報器』 早めの対応が大切な命を守ります。



【火災に早く気づき、命を取りとめることができた事例】

居住者が就寝時に、ハロゲンヒーターを消し忘れたため、放射熱によりそばに置いてあった紙袋に着火した。寝室に設置していた住警器の鳴動に気づき、水バケツにて初期消火をし、119番通報した。
(埼玉県さいたま市)

【隣人が警報音に気づき、火災発生に至らなかった事例】

居住者が、台所でガスコンロに鍋をかけたまま外出したため、加熱された鍋から発煙し、台所に設置していた住警器が鳴動した。警報音に気づいた隣人が119番通報した。
(福島県会津若松市)



不適正な訪問販売で購入、契約してしまったら・・・

クーリングオフ制度

契約（購入）から一定期間の場合は、クーリングオフの対象です。詳しくは、お住まいの地域の消費生活センターへお問い合わせください。

島根県 消費者センター 0852-32-5916
出雲市役所 生活・消費相談センター 0853-21-6682
斐川町役場 総務課相談窓口は 0853-73-9200

平成23年度各種資格取得試験の日程

危険物取扱者試験

- ▶ 第1回(甲種・乙種・丙種)
【試験日】 6月12日(日)
【受付期間】 4月13日(水)～4月26日(火)
【試験会場】 松江市、出雲市ほか
- ▶ 第3回(甲種・乙種・丙種)
【試験日】 11月20日(日)
【受付期間】 9月5日(月)～9月20日(火)
【試験会場】 松江市、出雲市ほか
- ▶ 第4回(乙種のみ)
【試験日】 平成24年2月5日(日)
【受付期間】 12月8日(木)～12月21日(水)
【試験会場】 松江市、出雲市ほか

消防設備士試験(甲種・乙種)

- ▶ 第1回
【試験日】 8月28日(日)
【受付期間】 6月30日(木)～7月14日(木)
【試験会場】 松江市、浜田市
- ▶ 第2回
【試験日】 平成24年3月18日(日)
【受付期間】 1月19日(木)～2月2日(木)
【試験会場】 松江市

申請には、書面申請と電子申請があります。詳しくは、消防本部予防課にお尋ねください。

連絡先/事務局(出雲市消防本部内)

住所 出雲市渡橋町253番地1
電話 0853-21-6922
Eメールアドレス boukakyukai@izumo119.or.jp

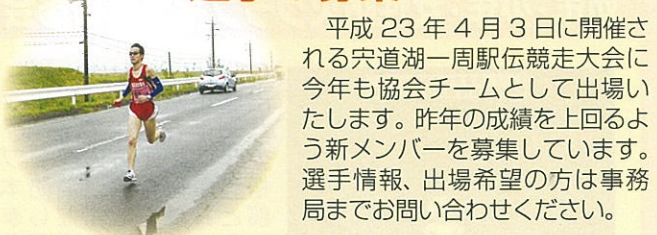
本協会ではAED(自動対外式徐細動器)、訓練用AED、トレーナーの貸出しをしております。各種イベント等でご活用ください。

応急手当普及員再講習のお知らせ

普及員の資格を継続するのは、前回の受講日から3年以内に応急手当普及員再講習を受ける必要があります。開催日は事務局までお問い合わせください。

●平成22年度 全国統一標語●
「消したかな」あなたを守る 合言葉

第66回 宍道湖一周駅伝競走大会 選手の募集



平成23年4月3日に開催される宍道湖一周駅伝競走大会に今年も協会チームとして出場いたします。昨年の成績を上回るよう新メンバーを募集しています。選手情報、出場希望の方は事務局までお問い合わせください。

編集後記

謹んで新年のお慶びを申し上げます。2月に開催される「出雲くにびきマラソン大会」で協会のボランティア部が救護サポートをします。また住宅用火災警報器の広報活動も行います。協会の会員を募集しています。加入していただける事業所をご紹介ください。
事務局一同



出雲地区防災安全協会 会報

No.10
2011.1

発行・事務局
出雲市消防本部内
TEL (0853) 21-6922

出雲市消防本部 幼年少年女性 防火クラブ研修会



わにぶち保育所幼年消防クラブ演奏

新年の挨拶

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかな新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。日頃から出雲地区防災安全協会の運営につきまして、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

本協会は、近時、各地で大きな被害を出す自然災害や人的災害の発生を踏まえ、災害時、会員事業所自らが地域の防災・救命の拠点となる事業を積極的に展開してまいりました。

出雲地区では被害の大きい災害はありませんでしたが、島根県内では昨年も相次いで発生した自然災害や地域社会の情勢変化による災害の複雑多様化などによる被害も発生しています。

今後とも災害情報をいち早く提供する防災メールの配信や、住宅用火災警報器の設置促進を図るとともに、救命ボランティア・防災ボランティアによる積極的な活動の展開により、地域の安心・安全の一助を担う協会となるため、一層の防災安全事業を推し進める覚悟でございます。

出雲地区防災安全協会の更なる発展と、住民が安心して暮らせる地域づくりのために、今後とも会員の皆様のより一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様方のますますのご健勝とご発展を祈念いたしまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。



会長
新藤 正人



危険物保安関係功労者定例表彰

平成 22 年度危険物保安関係功労者定例表彰式及び安全講演会が 8 月 17 日、松江市の「くにびきメッセ」で開催され、NHK 解説副委員長の山崎登氏の「社会の変化に応じた防火・防災」を演題に講演がありました。今回は、島根県危険物保安協会連合会設立 50 周年記念式典の中で危険物保安関係功労者定例表彰式があり、本協会から次の事業所及び個人の方が受賞されました。

事業所の部

株式会社 ダイハツメタル出雲工場 有限会社 吉廻石油

個人の部

有限会社 ワタナベ石油 有限会社 田原石油
代表取締役 渡部 誠 マネージャー 田原 大介



平成22年度危険物安全講演会

地下貯蔵タンクに係る法改正

今回の改正は、地盤面下に直接埋設された鋼製一重殻の地下貯蔵タンクのうち設置年数、塗覆装の種類及び設計板厚が一定の要件に該当するものを「腐食のおそれが特に高いもの」等として区分し、その区分に応じて、タンク内面の腐食を防止するためのコーティング等の措置を講ずることを主な内容とするものです。

1) 腐食のおそれが特に高い地下貯蔵タンク

設置年数※1	タンク外面の塗覆装の種類	設計板厚※2
50 年以上	アスファルト	すべての設計板厚
	モルタル	8.0 mm未満
	エポキシ樹脂又はタールエポキシ樹脂	6.0 mm未満
	強化プラスチック	4.5 mm未満
40 年以上 50 年未満	アスファルト	4.5 mm未満

【腐食のおそれが特に高い地下貯蔵タンクに講ずべき措置】
・内面ライニング又は電気防食

2) 腐食のおそれが高い地下貯蔵タンク

設置年数※1	タンク外面の塗覆装の種類	設計板厚※2
50 年以上	モルタル	8.0 mm以上
	エポキシ樹脂又はタールエポキシ樹脂	6.0 mm以上
	強化プラスチック	4.5 mm以上 12.0 未満
40 年以上 50 年未満	アスファルト	4.5 mm以上
	モルタル	6.0 mm未満
	エポキシ樹脂又はタールエポキシ樹脂	4.5 mm未満
	強化プラスチック	4.5 mm未満
30 年以上 40 年未満	アスファルト	6.0 mm未満
	モルタル	4.5 mm未満
20 年以上 30 年未満	アスファルト	4.5 mm未満

【腐食のおそれが高い地下貯蔵タンクに講ずべき措置】
・内面ライニング若しくは電気防食又は危険物の漏れを検知することができる常時監視装置の設置（例えば、高い精度でタンクの液面を管理することができる高精度液面計など。）

※1 設置年数…当該地下貯蔵タンクの設置時の許可に係る完成検査済証の交付年月日を起算日とした年数。
※2 設計板厚…当該地下貯蔵タンクの設置時の板厚をいう。

●コーティング

地下貯蔵タンクの内面の腐食を防止するため、タンクの内面全体にガラス繊維強化プラスチックライニングを 2.0 mm 以上の厚さに被覆するもので、地下貯蔵タンクが埋設されたままの状況で施工できるものです。

●電気防食

地下貯蔵タンクの周囲に電極を埋める等を行うことにより、地下に埋設されたタンクへ外部から直接電流を流し、腐食の進行を防止するものです。

●危険物の微小な漏れを検知するための設備

直径 0.3 mm 以下の開口部からの危険物の漏れを常時検知することができる設備のことであり、埋設された地下貯蔵タンクに貯蔵されている危険物の液面を常に計測して、危険物の液面の変化を検知し、警報が発するシステム（高精度液面計）などです。

【注意】

内面コーティングを施工する際に、タンクの状態を調べますが、その結果、タンクの腐食が著しく進んでいる場合等、消防法令の基準に適合しない場合は、内面コーティングが施工できないだけでなく、タンクの使用もできなくなります。

施行期日：平成 23 年 2 月 1 日
経過措置：平成 25 年 1 月 31 日までの間は適用の猶予措置がとられています

＜詳細については、消防本部予防課危険物係にお尋ねください。＞

平成 22 年度 出雲地区防災安全協会視察研修



JFE スチール機視察

11 月 25 日（木）～ 11 月 26 日（金）の 2 日間、出雲地区防災安全協会主催の防災視察研修が山陽方面で行なわれました。この研修には会員事業所から 20 名が参加され、私もその一員として参加させていただきました。



株式会社 出雲村田製作所 松谷 和洋

1 日目に視察した岡山県の旭化成ケミカルズ(株)水島製造所では、140 万㎡という広大な敷地で樹脂製品原料を生成するため多数の危険物を取り扱っており、緊急車両の配備や隣接している他事業者と連携した防災体制を取っておられ、合同で防災訓練を実施されていることを伺いました。

2 日目は岡山・広島両県の県境にある福山市の JFE スチール(株)西日本製鉄所の視察を行いました。日本一の粗鋼生産量を誇るだけあって、1,420 万㎡と広大な敷地内に多数の工場棟がありました。防災面では複数の緊急車両の配備、定期訓練の実施状況について説明を受け、万全の防災体制が敷かれていることがわかりました。今回の視察研修により、参加各事業所が地域と連携した防災体制と訓練の重要性を改めて認識しました。

共催事業

消火技術訓練大会

消火器と屋内消火栓設備の基本的な取扱いと操作技術を競う「第 18 回消火技術訓練大会」を 10 月 20 日（水）に出雲市今市町「一の谷公園自由広場」で開催（消防本部と共催）しました。今回から環境に配慮し、消火器の部では水消火器を使用しました。会員事業所から消火器の部に 17 事業所、屋内消火栓の部に 6 事業所が参加されました。皆さん真剣なまなざしで迅速かつ的確な動作をしておられました。それぞれの結果は次のとおりです。



消火器の部

優勝 株式会社 出雲村田製作所
準優勝 社会福祉法人親和会 ふたば園
第 3 位 ヒラタ精機 株式会社



屋内消火栓の部

優勝 株式会社 出雲村田製作所
準優勝 ヒカワ精工 株式会社
第 3 位 株式会社 島根ワイナリー

次回の大会にも多数のご参加をお願いします。

危険物取扱者試験準備講習会の開催



10 月 24 日（日）には、消防本部会議室で会員事業所の職員を対象に第 2 回目の乙種危険物取扱者試験の準備講習会を開催しました。講師には、神戸天然物科学(株)出雲工場と出雲市消防本部の協力を得ました。

幼年・少年・女性防火クラブ指導者研修会



10 月 28 日（木）には、出雲市駅南町「ビッグハート出雲」で幼年・少年・女性防火クラブ指導者研修会（消防本部と共催）を開催しました。光幼稚園の西谷園長の活動報告のあと、社団法人日本損害保険協会中国支部事務局長の齋藤健一郎様の講演、JAいずも四絡女性部婦人防火クラブによる住宅用火災警報器設置促進の寸劇や平田保育会わにぶち保育所幼年防火クラブによる演奏及びクラブ員の「防火の誓い」で閉会しました。

少年消防クラブ員一日体験学習



夏休みに入った 8 月 6 日（金）、出雲市消防本部で少年消防クラブ員 114 名が参加した一日体験学習を開催（消防本部と共催）しました。消防職員と一緒に訓練塔でのロープ渡りや消火器の使い方バケツリレーでのボール落とし、起震車による地震体験などをし、最後は皆で非常食を食べました。これらを通して、人命の尊さ、連携の大切さ、防火の重要性などについて理解する楽しい一日を過ごしました。